

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 利用されていない公共施設の対応について	1. 現在、取り組んでいる公共施設マネジメント計画においては、既存施設の運用・長寿命化の対応と解するが、すでに利用されていない施設が残っており、処分（解体）されずにこのままの状態が続くことは施設の安全面等から考えても早急な対応が必要であると考ええる。解体等に要する経費を捻出するのは厳しい財政状況と認識している。 しかし、放置状態の施設に対していろいろと課題があるが何らかのアクションを起こし、処分計画を作成して取り組むことが重要と考えるが、市長の見解を伺う。		
	2. 財政健全化指標について	1. 平成27年度決算における財政健全化指標が報告され、報告された各指標について市の財政は健全であるとの報告内容でした。ただ、経常収支比率から見てみると、依然として公債費、人件費、扶助費の固定費の割合が高い水準で推移していることが分かる。 このことは市財政の硬直化を如実に表している。この硬直化に対する考えを伺う。 また、行政として市税などが自由に使えるお金の占める割合を高めるための方策として、何が有効的かを含め、市長の財政健全化に取り組む考えを併せて伺う。		

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
2. 福祉行政	1. 子育て世代の支援について	1. 市長の公約でもあり施策である、まち・ひと・しごと創生総合戦略において子育て世代包括支援センターとしての方向性を打ち出している。子ども・子育て支援法では、13の事業推進のため支援事業計画を5年を一期とし、計画策定するよう定めているが、現在、市としての取り組み事業は何事業を展開しているのか伺う。 なお、13事業のうち妊婦健康診査、母子保健法第13条第1項の規定に基づき、市町村では必要に応じ妊婦、乳幼児に対して検査を行い、検査を受けることを勧奨しなければならないとなっている。平成25年までは、この事業に対し交付税措置がされてきたが、それ以降は、国は地方財源を確保し地方財政措置を講ずることによる恒常的な仕組みへと移行している。そこで滝川市としては妊婦健康診査事業に対しての取り組み状況が現状でよいと判断しているのか伺う。また、これら支援事業計画を積極的に盛り込むべきと考えるが見解を伺う。		
	2. 介護の2025年問題について	1. 2025年に起こる介護の問題点としては、平均寿命が延びていることから高齢化社会が進み、健康な高齢者が増えることに対しては介護の問題はないが、75歳以上の後期高齢者になると要介護の認定を受ける割合が上がると考えられる。現在でも介護職場の従事者が不足していることから更に深刻なことを考えられる。人手不足が容易に解消するとは思えない中で事業の継続、新規参入も困難となると、介護難民が増えると予想されることから人手不足に対する施策が求められるが、長期的な考え方について伺う。		

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
		2. 介護給付・介護保険料の問題点としては、要介護者が増えることにより介護サービスを利用する人が増え、介護保険を利用して介護サービスを受ける経費は40歳以上が支払う介護保険料と税金で賄われている中で、高齢者が安心して在宅生活を送れるシステムが大切になってくる。2025年の対応に向けて、介護保険制度の見直しが急務と考えるが、介護保険料の引き上げについての調査、研究についての見解を伺う。		
3. 観光行政	1. 菜の花まつりについて	1. 滝川市のまつりとして定着している。現在、多くの観光客が来滝している菜の花まつりにおける、本年度の課題と改善点についての認識はどのように捉えているのか伺う。（例年指摘されているPR方法、駐車場、散策コース、マナー、案内等）		
		2. 菜の花まつり開催時におけるイベントのあり方についての考え方として、例えば道の駅においての菜の花関連の物品の販売、また菜の花会場において菜の花迷路の造成、菜の花マラソンコースの設定等々各種イベントと組み合わせ、合同で開催することは可能か伺う。		
		3. 菜の花まつり関連グッズ商品の開発に向けての取り組みは検討されているのか伺う。（例えば、お菓子類、麺類、ジュース類、アルコール類、ケーキ等の商品開発の考えは持っているのか伺う。）		

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
4. 教育行政	1. 学力向上について	1. 確かな学力向上に向けては、子どもたちには「生きる力」を育むという捉えで進めるべきと考える。そこで学校の体制づくりとして、子どもたちの実態と育てたい力、具体的な取組等について全教職員の共通理解を図らなければと考えるが見解を伺う。		
		2. 授業の進め方としては、体験や問題解決のような学習等が求められると考えられる。指導の工夫により子どもたちが集中できる、楽しい授業、分かる授業を推進すべきと考えるが見解を伺う。		
		3. 学習の支援については、子どもたちの学習へのつまずきに対しては授業以外での対応が重要と考えるが、放課後や休憩時間に相談に乗るなど、どのように取り組んでいるのか伺う。		

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 滝川西高等学校の在り方について	1. 公立高等学校配置計画に基づき、1学級減の対応として現行の会計科、情報ビジネス科を見直し新たに情報マネジメント科となる。市立高等学校としてのグローバルな人材育成の考えのもとに進めたものと解する。そこで教育委員会として、少子化に対する市立高等学校の在り方については十分な協議と議論を行うべきと考えるが見解を伺う。		
	3. スポーツ施設の対応について	1. 市内におけるスポーツ施設の指定管理等については、一般財団法人滝川市体育協会が行っているが、各施設の実態は各競技団体が維持管理を行っている。現場を把握している体育協会が施設要望を取りまとめているものとするが、予算的なことについてはあくまでも市教育委員会が前面に立って各競技団体と協議を行い対応すべき事項であり、教育委員会として、スポーツ基本法に基づき施設整備計画を策定し、長期的な展開を図らなければと考えるが、見解を伺う。		